

[いも類]

(22) ばれいしょ

疫病

- I. 耕種的防除
 1. 連作を避ける。
 2. 無病種いもを使用する。
 3. 土寄せして地中のいもを保護する。
 4. 排水をよくする。
 5. 収穫は晴天の日を選ぶ。
 6. 窒素肥料を抑えて過繁茂を防ぐ。
 7. よく乾燥させた後に貯蔵する。
- II. 薬剤防除
 1. 予防散布を行う。
 2. 発病初期に散布する。
- III. その他
発病適温は 15℃以上（18℃～20℃）、多湿条件下で多発する。

夏疫病

- I. 耕種的防除
 1. 連作を避ける。
 2. 窒素肥料を抑えて過繁茂を防ぐ。
 3. 適度に灌水する。
- II. 薬剤防除
 1. 予防散布を行う。
 2. 発病初期に散布する。
- III. その他
 1. 分生胞子の発芽は 28～30℃。
 2. 窒素質肥料の不足は発病を助長する。

そうか病

- I. 耕種的防除
 1. 連作を避ける。
 2. 健全な種いもを利用する。
 3. 土壌 pH を低く保つ。
- II. 薬剤防除
 1. 種いもを消毒する。
 2. 薬剤を土壌混和する。
- III. その他
病原菌は土壌中で長期間生存し、土壌伝染する。種いもによる伝染もする。

黒あざ病

- I. 耕種的防除
 1. 連作を避ける。
 2. 健全な種いもを利用する。
 3. 石灰等を施用して土壌 pH を矯正する。
- II. 薬剤防除
種いもを消毒する。

III. その他

病原菌は菌核の形で土壌中、被害いも、被害茎上で越冬生存し、伝染する。病原菌の生育適温は 25～30℃と高温であるが、気温 15～20℃の涼しいときにも発病する。

軟腐病

- I. 耕種的防除
 1. 連作を避ける。
 2. 排水のよいほ場を選ぶ。
 3. 窒素肥料を抑えて過繁茂を防ぐ。
- II. 天敵・微生物による防除
微生物農薬を利用する。
- III. 薬剤防除
発病初期に散布する。
- IV. その他
 1. 病原細菌は土壌中に生存し、茎葉やいもに付着し傷口から浸入する。長雨の後高温多湿条件で発病しやすい。
 2. 菌の生育適温は 32～33℃。

モザイク病
(PVX、PVY-T)

- I. 耕種的防除
 1. 無病種いもを使用する。
 2. 掘り残したいもは早めに除去する。
- II. 薬剤防除
アブラムシ類の防除を行う。
- III. その他
 1. ジャガイモウイルス X (PVX) およびジャガイモウイルス Y えそ系統 (PVY-T) の発生が多い。
 2. PVY-T はタバコ黄斑えそ病の病原となる。

アブラムシ類

- I. 耕種的防除
光反射フィルムでマルチする。
- II. 薬剤防除
 1. 植付時に粒剤を施用する。
 2. 発生初期に散布する。

テントウムシダマシ類 (ニジュウヤホシテントウ、オオニジュウヤホシテントウ)

- I. 薬剤防除
発生初期より散布する。

ハスモンヨトウ、ヨトウムシ

- I. 天敵・微生物による防除
微生物農薬を利用する。
- II. 薬剤防除
若齢期に散布する。

（23）さといも

黒斑病

- I. 耕種的防除
 - 1. 連作しない。
 - 2. 種いもは無病株からとる。
- II. 薬剤防除
 - 植付前に種いもを消毒する。

アブラムシ類

- I. 耕種的防除
 - 光反射フィルムでマルチする。
- II. 薬剤防除
 - 1. 発生初期に散布する。
 - 2. 夏期高温時の散布は薬害の恐れがあるので注意する。

ハスモンヨトウ

- I. 耕種的防除
 - 卵塊や幼虫を捕殺する。
- II. 誘引剤による防除
 - フェロモン剤を利用する。
- III. 薬剤防除
 - 1. 若齢期に散布する。
 - 2. 夏期高温時の散布は薬害の恐れがあるので注意する。

ハダニ類

- I. 薬剤防除
 - 発生初期に散布する。
- II. その他
 - 夏期高温時の散布は薬害の恐れがあるので注意する。

セスジスズメ

- I. 耕種的防除
 - 幼虫を捕殺する。

4. スイートコーン

アワノメイガ

- I. 耕種的防除
 - 1. 防虫ネットで被覆する。
 - 2. 黄色灯を設置する。
 - 3. 交配後、雄穂を早めに摘除する。
- II. 薬剤防除
 - 1. 発生初期、雄花が出揃う頃に雄花および稈の上部に薬剤を散布する。
 - 2. 雌花には早めから薬剤散布する。
- III. その他
 - 年3～4回発生する。

アブラムシ類

- I. 薬剤防除
 - 発生初期に散布する。
- II. その他
 - 生育後期の高温乾燥時に発生が多い。

アワヨトウ

- I. 耕種的防除
 - 1. 防虫ネットで被覆する。
 - 2. 幼虫を捕殺する。
- II. 薬剤防除
 - 発生初期に散布する。

ネキリムシ類 (カブラヤガ、タマナヤガ)

- I. 耕種的防除
 - 1. 幼虫を捕殺する。
 - 2. ポット育苗する。
 - 3. 作付け前のほ場に雑草を繁茂させない。
- II. 薬剤防除
 - 出芽時に粒剤を施用する。